

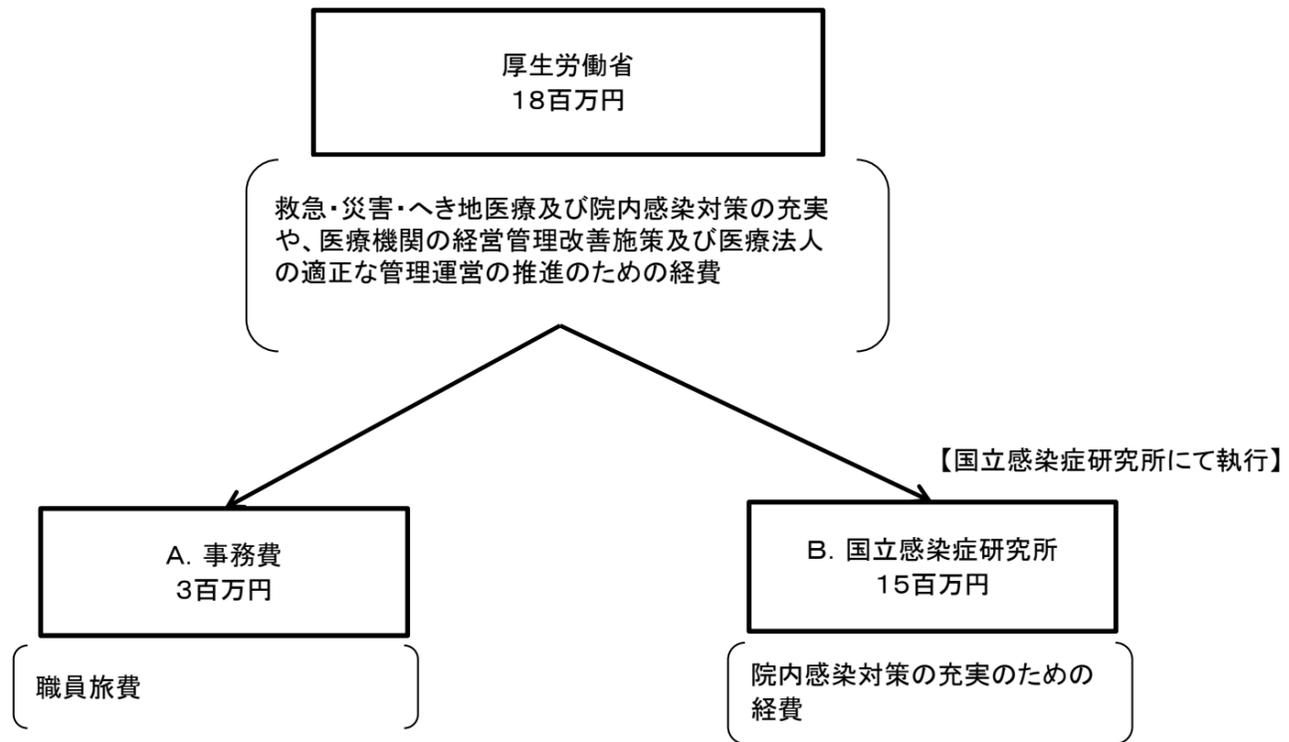
平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	医療施設指導等経費			担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始年度	平成18年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	地域医療計画課		課長：北波 孝		
会計区分	一般会計			政策・施策名	I-1-1 日常生活圏の中で良質かつ適切な医療が効率的に提供できる体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	救急・災害・へき地医療及び院内感染対策の充実や、医療計画推進に係る指導等を目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討、医療計画の推進にかかる指導及び医療監視業務等の指導を行う。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額(単位:百万円)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
	予算の状況	当初予算	9	9	9	7	9		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	9	9	9	7	9			
執行額		8	7	18					
執行率(%)		89%	78%	200%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	病院の立入検査における検査項目に対する遵守率を前年度以上とする	病院の立入検査における検査項目に対する遵守率(平成25年度、平成26年度実績は集計中であるため、平成27年度目標値は平成25年度目標値と同値)	成果実績	%	98.5	-	-		
			目標値	%	98.4	98.5	-	98.5	
			達成度	%	100%	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	心肺停止者の一ヶ月後の生存率を前年度以上とする。	心肺停止者の一ヶ月後の生存率(平成26年度実績は集計中であるため、平成27年度目標値は平成26年度目標値と同値)	成果実績	%	11.5	11.9	-		
			目標値	%	11.4	11.5	11.9	11.9	
			達成度	%	100%	100%	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	心肺停止者の一ヶ月後の社会復帰率を前年度以上とする。	心肺停止者の一ヶ月後の社会復帰率(平成26年度実績は集計中であるため、平成27年度目標値は平成26年度目標値と同値)	成果実績	%	7.2	7.9	-		
			目標値	%	6.9	7.2	7.9	7.9	
			達成度	%	100%	100%	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合を前年度以下とする。	黄色ブドウ球菌におけるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)の割合(平成26年度実績は集計中であるため、平成27年度目標値は平成26年度目標値と同値)	成果実績	%	53	51	-		
			目標値	%	54.6	53	51	51	
			達成度	%	100%	100%	-		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	医療機関の医療広告に関する規制についての説明(指導)会開催	活動実績	回	8	8	8			
		当初見込み	回	8	8	8	8		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	医療法第25条第1項の立入検査時の留意事項の説明(助言)会開催 ※上記会議と同時開催	活動実績	回	8	8	8			
		当初見込み	回	8	8	8	8		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	院内感染対策サーベイランス事業参加医療機関数	活動実績	施設	1,087	1,301	1,671			
		当初見込み	施設	1,000	1,087	1,301	1,671		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込					
	活動実績	当初見込み										
院内感染対策サーベイランス事業実施施設	活動実績		施設	1	1	1						
	当初見込み		施設	1	1	1	1					
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込					
	単位当たりコスト=X/Y							百万円	1	1.1	0.4	0.9
	X: 執行額 Y: 説明会開催数							計算式	X / Y	8百万円 / 8	7百万円 / 8	3百万円 / 8
単位当たりコスト	算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込					
	単位当たりコスト=X/Y							百万円	-	-	15	-
	X: 執行額 Y: 院内感染対策サーベイランス事業実施施設数							計算式	X / Y	-	-	15百万円 / 1
平成27年度 算内訳(単位:百万円)	費目		27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由							
	諸謝金		0	0								
	職員旅費		2	3								
	委員等旅費		0	0								
	庁費		5	6								
計		7	9									

事業所管部局による点検・改善					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	様々な観点からの医療に係る安全確保は重要であり、広く国民のニーズがあり、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	医療の安全と信頼を確保する上で、国が実施すべき事業である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	医療の安全の確保という政策目的達成に向けて、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	当事業に必要な経費のみを対象としており妥当である。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	指導等に係る必要最低限の費目や使途に限定している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	活動実績は見合ったものとなっている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	-	
	-	-	-	-	
点検・改善結果	点検結果	医療機関等への指導、救急医療等の諸方策の検討や院内感染の充実が国民が安心して暮らしていくためにも必要なものであり、病院の建物設備等が基準に合致しているか、確認するための病院の立入検査における検査項目の遵守率が平成23年度は98.4%、平成24年度は98.5%となっている。また、医療機関の医療広告に関する規制についての説明会や医療法第25条の立入検査時の留意事項説明会については、毎年各厚生(支)局(8ヶ所)において実施しており、引き続き、実施が必要である。なお、平成26年度に執行額が増加しているのは、院内感染対策の充実を図るため、システムの機能追加等を行ったものである。			
	改善の方向性	医療機関等への指導等に係る経費や救急医療、災害医療等の諸方策の検討や院内感染の充実のための経費であり、今後も執行状況等を踏まえて、事業規模等を改善すべき点がある場合には、的確に反映していく。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
事業内容の改善	説明会の回数については、毎年、8回で推移しているにも関わらず、平成26年度における単位当たりコストは、説明会の開催経費ではない経費を含んでいることにより、約2倍のコストとなっていることから、本シートのアウトプットや単位当たりコストの欄の精査を行った上、再度、事業の点検を行うこと。 なお、救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討、医療計画の推進にかかる指導及び医療監視業務等の指導を行う上では、必要な経費であり、過去の執行額を考慮し、平成27年度予算額において、一定の見直しを行っていることから、引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
執行等改善	平成26年度における国立感染症研究所への支出は、院内感染対策サーベイランス事業のためのシステム改修を行ったものであり、本シートにも当該事業に関するアウトプットや単位あたりコスト欄への追記を行った。 また、救急・災害・へき地医療及び院内感染に関する諸方策等の検討、医療計画の推進にかかる指導及び医療監視業務等の指導を行う経費については、引き続き、適正な執行に努めていく。				
備考					
○提言型政策仕分け 平成23年11月22日 事業番号: B5-2 社会保障: 医療サービスの機能強化と効率化・ 重点化提言(とりまとめ): 国民・地域のニーズを具体的に把握して、診療報酬の改定を行うべき。その中で、勤務医と開業医、また診療科間について、リスクや勤務時間に応じて報酬配分を大胆に見直す。また、医師不足改善のため、勤務医と開業医とのアンバランスや地域別・診療科別の医師不足の状況を踏まえて、メリハリの利いた診療報酬改定を早急に行うべき。また、中長期的には、開業医と勤務医の収入をバランスさせることを目指し、開業医・勤務医の平準化を進める。また、医療サービスの価格全体の前提となる診療報酬本体(医師の人件費等)については、「据え置く」6名、「抑制」3名という意見があったことを重く受け止めて対応されたい。加えて、中長期的な検討課題として提案された地域・診療科間の偏在の解消など、医師不足の問題に対応する医療供給体制の在り方について、社会保障審議会での検討の上、行政刷新会議に報告されたい。また、診療報酬の加算が効果的に待遇改善につながるよう、勤務条件が厳しい診療科を中心に待遇改善につながる条件付けを行うべき。					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	42	平成23年度	35	平成24年度	36
平成25年度	15	平成26年度	14		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.職員(複数)			E.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	職員旅費	施設調査にかかる旅費	3			
	計		3	計		0
	B.キーウェアソリューションズ株式会社			F.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	雑役務費	院内感染対策サーベイランス事業システム機能追加及び改修	8			
	計		8	計		0
	C.			G.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	職員(複数)	施設調査	3	—	—

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	キーウェアソリューションズ株式会社	院内感染対策サーベイランス事業システム機能追加及び改修	8	1	80.5%
2	エルゼビア・ビー・ブイ	Science Direct バックファイル購入費として 1/2	6	1	94.1%
3	株式会社チヨダサイエンス	細菌2部部長室 新規/既存什器入換作業	0.4	随意契約	—
4	Apple Japan合同会社	備品販売	0.4	随意契約	—
5	(株)池田理化	備品販売	0.2	随意契約	—
6	(株)高長	消耗品販売	0.1	随意契約	—
7	独立行政法人 国立印刷局	資料印刷	0.1	随意契約	—
8	堀内電機株式会社	消耗品販売	0.1	随意契約	—
9	(株)竹宝商会	消耗品販売	0	随意契約	—
10	昭和電工ガスプロダクツ株式会社	消耗品販売	0	随意契約	—